

# 日本環境管理学会 論文等執筆要領 Guideline for Preparing a treatise for the RIEMAM

環境 一郎\*  
Ichirou Kankyo

keywords : RIEMAM, Environmental Management, treatise  
日本環境管理学会、環境の管理、論文

## 1. 記述の方針

論文は、それ自体で研究報告としての討論と保存に耐えられるものとし、研究内容を明確に記述する。

各方面の分野・専門の方々を読むことを前提として、研究の目的、考え方、方法や手法、結論を記述する。

製品の宣伝等、学会の研究としてふさわしくない論文は受理しない。

論文に関連した、既往の研究や調査報告を整理して掲載する。

## 2. 原稿

原稿は、パソコン又はワードプロセッサで執筆する。手書きの原稿は受理しない。

原稿の頁数は、特に制限しない。

所定の原稿用紙はないが、A4 版白紙の片面に、余白を左右に 20 mm、上部に 25 mm、下部に 35 mmの余白をとり、この枠内に 10.5 ポイント程度の大きさの文字で、22 字×42 行、2 段組、1848 字 (22×42×2) で作成する。

図表を含め、上記の枠内に読みやすいように割り付ける。

## 3. 論文題目

論文題目は、論文の内容を的確に表現したものとする。

共通する主題のもとで数編を連続する場合、個々の論文に、その内容を具体的に表現する題目を付ける。共通の総主題は、副題(サブタイ

トル)とし、その 1、その 2 などと付ける。

## 4. 論文の構成

論文の構成は、原則として下記による。

(1)まえがき(2)本論(3)結論(4)註・引用文献・参考文献

## 5. 論文の書き方

(1)論文文章等

論文文章は、ひらがな混じり口語体、現代かなづかいとし、原則として当用漢字を用いる。

数字、アルファベット、ギリシャ文字、上付き、下付き、大文字、小文字などのまぎらわしいものは明確にすること。

写真は、必要な大きさに縮小または拡大して、文章に対応する所に張り付ける。

(2)数式

数式はに、(1)、(2)、(3)などの通し番号を付ける。

(3)図、表及び写真

図、表及び写真は、そのまま印刷に使用するので、完全なものを提出すること。

図、表及び写真には、それぞれ、図 1、図 2、…、表 1、表 2、…、写真 1、写真 2…などと通し番号を付ける。

図、表及び写真には、内容を的確に表現する標題を必ず付ける。

図及び写真の標題は、図及び写真の下部に、表の標題は、表の上部に付ける。

---

\*〇〇工業大学・工学部 教授・工博

prof., Faculty of Engineering,

〇〇Institute of Technology, Dr. Eng.

(4)註・引用文献・参考文献

註は、論文文章には含められないような詳細なコメントや意見を述べるもので、註の順に通し番号を付し、論文文章の後に番号順にまとめて掲載する。

引用文献は、引用順に番号を付し、註の後に番号順にまとめて掲載する。

参考文献は、引用文献の後に番号順にまとめて掲載する。

文献番号は、文章中または図、表の引用箇所<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup>のように上付き文字を使用して明記する。

文献の記載方法は、次による。

a. 論文の場合

著者名：標題、誌名、Vol.、No.、発表年月、掲載頁の順とする。

b. 単行本の場合

著者名：書名、発行所名、発行年月、掲載頁の順とする。

c. 著者名は、姓名で記す。ただし、著者が複数で多い場合、筆頭者以外は、ほか〇名としてもよい。

一般に公表されていない文献は、引用文献又は参考文献として扱わない。

図、表等の引用・転載にあたっては、著作権所有者の許可を取らなければならない。

(5)記載例

[引用文献]

1. 田中稲子、梅干野晁：生活環境における緑の管理手法としての緑資源の活用～炭化ワラ材料を用いた透気性建築部材のLCA～、環境の管理、第28号、2000年5月、pp.19～27
2. Charter B., Swallow p.: Building Maintenance Management, Blackwell Science Ltd., 1996, p.80, p.209

3. 総理府編：障害者白書 1996年版、1996年12月、p.204

[参考文献]

1. Maekawa K., Furuhashi H.: On the Backup System for Building Maintenance, Proceedings of the 5th International Symposium on Building and Urban Environmental Engineering and Management, RIEMAM, 1995, pp.101-109
2. 木村宏編著：環境管理—その概念計画と技術—、コロナ社、昭和54年

6. 原稿の取り扱い

論文原稿の枠外右下に、頁数を鉛筆書きする。

論文原稿の送付にあたっては、汚れたり、折れたり、しわにならないように注意すること。

7. 別刷

採択された論文原稿は、別刷30部を本学会にて無償で作成する。

30部以上必要な場合は、実費で頒布するので事務局まで申し込むこと。